

特選

アマゾンの新侵略者ドロロンが撮ったインシオは空見上げぬか
ナーセリー巡りて漸く見つけたる山椒や茗荷に祖国が香る
暑さから暑さこぼるる橋ゆけば信号待ちのきみが見る天
新しき暮し始めるきみのゆく北の夕空半月浮かぶ

秀作

とりえなく異国に生きて九十三歳おわりの日まで歌を友とし
天金の剥げし聖書も半世紀移民の我と共に古りたり
月経を天の雫と呼ぶ地にて三つの命を我は授かる
初赴任は赤道直下の国なりき全天星図君持ちち行けり
マカプウの海守り地蔵はほほえみて移民の歲月見守りたまう
天空にまっすぐ伸びる木曾檜神に仕える日をじつと待つ
キッチンに闇に潜みし一匹の蠅ゆつくりと薄明に飛ぶ

佳作

ゴヤス路の急な坂道登りつめ車はふわり天に消えたり
天空のパズルを一つ剥がすと無花果の葉の枝より落ちぬ
ミシシッピの支流に沿って西へ飛ぶ眼下のみどりはオハイオあたり
ワイキキの砂巻き上げる突風に新婦はベールをしつかり押さえる
ゆく船に手を振り返す人絶えて塔よりのびるラプンツェルの髪
厚真町の地震の緯度にはほぼ同じフランクフルトにスマホを握る
ざわめきはざわめきのまま胸に鎮め木綿豆腐を手のひらに切る
オーケストラを引きこむ津軽三味線にタイ人も身を乗り出してくる

入選

大正に生まれ昭和と平成を帰化もせず生くブラジル大地
炎天のガラガラの中咲きており黄の花イペーの花は

入選

軒先のドラム缶風呂呂子を抱いて椰子の樹上は満天の星
今日一日アマゾンの中に立ちいれば流るる星に吸い込まれゆく

ブラジル 神林 義明

入選

ブラジル史共に生き来し五十年いま大根の俳句詠みたり

ブラジル 足立富士子

入選

千天の大地は煙り旅を行く角笛流る白牛の群

ブラジル 浅海 護也

入選

半世紀ブラジルに住み今米寿銃後守りし頃しみじみと
百十年の先達の労実を結びよき足跡をわれ等に残せり
この国に終の住処と決めしより庭に植多たる桜とイペー
ブラジルの四季は定かにあらねども桜は春を告げて咲き満つ
湖るアマゾン大河雲光る韋駄天走りの夕立降り来る
言わずとも心通ずる孫二人混血なれど絆は日本
渡伯時の恩師の言葉今も尚何処に活きるも天に恥なく
移民史の百十年の中に居て名もなき小さき花咲かせしか
祖国いま悲しきニュース数多あり異国にありて見ゆるものあり
四季の変化とほしき国に住みふりてテレビの桜しばし見惚るる
白と赤ブラジル国会ライトアップ友好つなぐ百十年記
受賞の日記念作文大使賞目も身もふるえ祝移民祭
アマゾンに鯨に蒲鉾天ぶらと日本食の文化の根付く
さながらに梁山泊やサンパウロの竜馬会てふ壮者の集ひ
老母泣かせたどり着きたる地の果に必死に生きし無冠の吾等
移民祭集う家族の話題には開拓当時の苦労話が
恵まれて自然災害なき国にイツペーと桜競い咲く園
眞子様やさしき笑顔訪伯の心に残る一〇年祭
移住時の面影消えて天高くビル建ち並ぶサンパウロの街
南国の光豊けくゴールデン・シャワー並木の金色世界
この広き天のいづくか吾の住まほらありやあくがれて見る
日本語にて「がんばりませう」言ひ交はすりハビロ同士は大正生まれ
今も尚椰子の葉蔭に万歳の声聞こへ来るホルモサの島
台湾の女総統健気にも自主独立の駒を進め居り
初秋の祖国は極暑 テレビより加州の炎がどアップされる

ブラジル 後藤 弥生

入選

ブラジルの四季は定かにあらねども桜は春を告げて咲き満つ

ブラジル 広田 ゆき

入選

湖るアマゾン大河雲光る韋駄天走りの夕立降り来る

ブラジル 東 博之

入選

言わずとも心通ずる孫二人混血なれど絆は日本

ブラジル 須賀 得司

入選

渡伯時の恩師の言葉今も尚何処に活きるも天に恥なく

ブラジル 須賀 得司

入選

移民史の百十年の中に居て名もなき小さき花咲かせしか

ブラジル 富岡 絹子

入選

祖国いま悲しきニュース数多あり異国にありて見ゆるものあり

ブラジル 富岡 絹子

入選

四季の変化とほしき国に住みふりてテレビの桜しばし見惚るる

ブラジル 梅崎 嘉明

入選

白と赤ブラジル国会ライトアップ友好つなぐ百十年記

ブラジル 矢田 正江

入選

受賞の日記念作文大使賞目も身もふるえ祝移民祭

ブラジル 矢田 正江

入選

アマゾンに鯨に蒲鉾天ぶらと日本食の文化の根付く

ブラジル 百合由美子

ブラジル 西田はるの

ブラジル 佐藤けい子

ブラジル 吉田 夏絵

ブラジル 三宅 珠美

ブラジル 内谷 美保

ブラジル 内谷 美保

台湾 三宅 教子

台湾 三宅 教子

台湾 高淑 慎

台湾 李英 茂

台湾 莊進 源

ハワイ ホイヤブ房子

入選	あつまりに昭和の色濃き花柄のドレスをまとう平成の秋	アメリカ	ホイランア房子
入選	勝率は2割だけれど賭けてみる42歳の不妊治療に	アメリカ	ザーカー久美子
入選	エリー湖の青がせまりて旋回の機窓に夫のふるさどが見える	アメリカ	青木 泰子
入選	人気なき静かな磯に一人来て故国の便り波風に聴く	アメリカ	鶴見ジニー
入選	血のような汗を大地に浸み込ませハワイに根付く元年意気地	アメリカ	鶴見ジニー
入選	天をつく長岡花火眺めてる居間にころげてテレビの中の	アメリカ	村上満智子
入選	レファの花摘めば涙の雨降るとふ「釋」・「幼」の文字墓碑に残れり	アメリカ	刀根 卓代
入選	轟音に風神の舞い見上ぐれば倒れる大樹道を塞がむ	アメリカ	南 篤州
入選	ハリケーン逸れたる後の青天に夏雲色のカーテン洗う	アメリカ	筒井みさ子
入選	職退きてポディーボードに身を預け波間にたゆたう気ままな老後	アメリカ	楽満 真美
入選	和太鼓のひときは響く移民祭ばち振る若きの意気地弾ける	アメリカ	冷 順子
入選	ハワイ竹は真冬にぬっと地面から力を秘めた頭を突き出す	アメリカ	岡 まなみ
入選	呼び寄せの在米六十年つとめ抜く有終の美は縮女職人	アメリカ	鈴木 良子
入選	浮く雲も流るる雲も悠久の時の流れの一時のこと	カナダ	渕上 幸江
入選	「2」と「0」のかたちの風船天に向けおだんごへアが闊歩してくる	ドイツ	三原はるみ
入選	雨あらく窓を流るる音を聞く台風と地震の列島遠く	ドイツ	ジーガー 須藤 裕子
入選	雨上がり西日に染まる夏至の雲天駆け抜けるベガサスに似たり	フランス	重光 紀子
入選	天から突如湧きでたごとき大滝のしぶきを浴びてナイアガラ行く	タイ	森上美恵子
入選	南京の学生前にし淡淡と良き日本人演じてあたり	中国	蒲池 文恵
入選	金陵の黒板を背に東海の言の葉講ず天職として	中国	蒲池 文恵
入選	「足元をこゝんなサメが通ったよ」帰るやいなや告げる孫の顔	オーストリア	バンアーキ ン哲子
入選	湯の花を入れた異国のバスタブで「天国だぜ」と鼻歌の夫	オーストリア	高山 昭子
入選	目に見えぬ電波にのせる人々の無限の思い天を飛び交う	オーストリア	高山 征三
入選	十年間バスから見てた天神橋渡ることなく越して十年	ニュージーランド	川村美砂子